

【理工学部 2回生以上】

2017 年度前期 履修・登録の手引き

～ 2016 年度後期成績発表 および 2017 年度受講登録について ～

外国人留学生の方は
別紙の「外国人留学生 2 回生以上対象 2017 年度前期 受講登録要項」を
必ず参照してください。

【理工学部 2回生以上】

2017 年度前期
履修・登録の手引き

～ 2016 年度後期成績発表 および 2017 年度受講登録について ～

目次

1 . 成績発表について	
(1) 成績通知表の見方	1
(2) 「卒業研究」受講要件、卒業要件について	1
(3) 修得単位数の目安	2
(4) 後期定期試験「講評」公開	2
(5) 後期成績評価確認制度について 新2～新4回生	2
(6) 各種証明書の発行について	2
2 . 在学生への情報発信方法について	3
3 . 履修関連日程	
(1) 受講登録とは	4
(2) 前期 Semester 履修関連スケジュール	4
(3) 定められた期間以外の受講登録・受講辞退	4
(4) 前期本登録後に登録単位数が0単位の学生・保証人への通知について	4
4 . 個人別時間割表の確認方法について	5
5 . 受講登録について	
(1) 年間受講登録制限単位数	6
(2) 「CAMPUS WEB」の受講登録画面へのアクセスについて	6
(3) 受講登録エラーについて	7
(4) 受講登録で注意が必要な科目	7
(5) 受講クラスについて	8
(6) 小集団教育科目(2017年度開講科目)	11
6 . 先着科目について	
(1) 先着科目登録に関わる確認事項・注意点	12
(2) 先着科目	12
7 . 選考科目・別途募集科目について	
(1) 選考科目・別途募集科目登録に関わる確認事項・注意点	13
(2) 選考科目・別途募集科目	13
8 . 抽選科目について	
(1) 抽選科目に関わる日程	18
(2) 抽選科目登録に関わる確認事項・注意点	18
(3) 抽選科目	18
9 . 「専門ゼミナール」について	20
10 . 「特殊講義(基礎専門)(理工系日本語の技法)」について	21
11 . 「インド工科大学ハイデラバード校 産学国際協働PBLプログラム」について	22
12 . 「インド ニッテ大学派遣プログラム」について	23
13 . 「ハワイ大学留学プログラム」について	23
14 . 「グローバルエンジニアプログラム」について	24

15. 「ジェイコブス大学派遣プログラム」について	25
16. 履修にあたっての注意事項(閉講科目等)	26
17. 「低回生研究室体験制度」について	27
18. 教職課程科目について	27
19. 【2011年度以前入学生対象】	
自主挑戦科目(難関資格試験、英語能力検定試験)の申請について	28
20. 【2017年度 新2回生対象】3回生時の履修指定外国語の語種希望申請について	28
21. 健康診断について	28
22. 教科書販売について	29
23. レポートの書き方について	29
24. その他連絡事項	30

【添付資料】

2017年度 立命館大学 学部学年暦

1. 成績発表について

(1) 成績通知表の見方

成績通知表は再発行できません。各自で大切に保管してください。

立命館大学成績通知表

作成日：××××/××/×× 1頁

学生証番号：*****
 所属：理工学部 学科
 回生：×回生
 氏名：××××
 生年月日： 年×月 日
 入学年月日：2010年4月1日

[外国語選択種別] 英語専修
 [外国語(第一)] 英語
 [外国語(第二)]

〒 *****
 ××県 市 町
 ***番地
 ××様

分野	科目名称	クラス	担当教員名	評価	単位	取得年度	期間	回生
基礎科目	日本国憲法	TA	×××××		2	2010	前期	1
基礎科目	英語1	4A	×××××		1	2010	前期	1
基礎科目	英語2	4A	×××××		1	2010	前期	1
基礎科目	英語3	4A	×××××		1	2010	前期	1
基礎専門科目	地球科学2	TD	×××××		2	2010	前期	1
基礎専門科目	物理科学1	TF	×××××		2	2010	前期	1
基礎専門科目	物理科学3	TD	×××××		2	2010	前期	1
基礎専門科目	情報科学	GB	×××××		2	2010	前期	1
基礎専門科目	数学	T5	×××××		2	2010	前期	1
基礎専門科目	数学	T5	×××××		2	2010	前期	1
基礎専門科目	数学演習	B5	×××××		1	2010	前期	1
専門科目	機械工学概論	G5	×××××		2	2010	前期	1
専門科目	力学	GB	×××××		2	2010	前期	1

<科目分野ごとの集計について>
 各科目分野の修得単位数合計は、下記の集計欄で確認できます。卒業までに必要な単位数と見比べて、計画的に修得してください。

<評価について>
 評価は、A+、A、B、C、F(不合格)の5段階、またはP(合格)やN(認定)がF(不合格)で明示されます。前年度までのF(不合格)評価については、記載されません。

総修得単位
 今セメスターまでに修得したすべての単位の合計数。
累積登録単位
 今セメスターまでに登録したすべての単位数から、卒業に必要な単位に含まれない科目の単位数を除いた単位数。累積GPAの分母。
卒業必要単位
 理工学部を卒業するために必要な単位数。
同総修得単位
 今セメスターまでに修得した卒業に必要な単位の合計数。
今年度GPA
 今セメスターに登録および修得した単位数をもとに計算したGPAの値。
累積GPA
 今セメスターまでに登録および修得した単位数をもとに計算したGPAの値。
 成績評価をもとに算出されるGPAの値は、奨学金や卒業研究の配属先の決定などに関わってきます。GPAの計算方法は、学修要覧で確認してください。

科目分野	必要	取得
全分野合計	132	22
基礎科目合計	30	5
英語専修	10	3
* 英語	10	3
基礎専門科目合計	26	13
専門科目合計	68	4
* 必修科目	4	
* 選択必修科目	16	4
* 選択科目		
自由選択科目合計		
* MOT入門プログラム		
* キャリア形成科目		

科目分野	必要	修得
* 教職課程科目		
* 他学部受講科目		
* 他学科受講科目		
* コンソーシアム科目		
* 外国留学科目		
* 自主挑戦科目		
* 特殊講義(自由選択)		

総修得単位	22	累積登録単位	22
卒業必要単位	132		
同総修得単位	22		
今年度GPA:	4.00		
累積GPA:	4.00		

(2) 「卒業研究」受講要件、卒業要件について (学修要覧『履修の方法と履修モデル』参照)

理工学部を卒業するには分野ごとの要件を満たし、かつ、定められた単位数以上の修得が必要です(「2012年度以降入学生：124単位」、「2011年度以前入学生：数理科学科・物理科学科124単位、数理科学科・物理科学科以外の学科132単位」)。また、「卒業研究」を履修するためには、受講要件が設定されています。修得した科目分野、単位数を確認しつつ、履修計画をたててください。

(3) 修得単位数の目安

【2012 年度以降入学生】【2011 年度以前入学生の数理科学科・物理科学科】

1 回生終了時：37 単位

2 回生終了時：70 単位

3 回生終了時：105 単位

卒業必要単位：124 単位以上

【2011 年度以前入学生の数理科学科・物理科学科以外の学科】

1 回生終了時：37 単位

2 回生終了時：72 単位

3 回生終了時：110 単位

卒業必要単位：132 単位以上

(4) 後期定期試験「講評」公開

理工学部の定期試験科目の一部について、講評をmanaba+R で公開します。受講した科目の到達度を検証するために活用してください。

□ 公開期間：3/3 (金) AM10:00 ~ 4/30 (日)

(5) 後期成績評価確認制度について 新2～新4回生

成績通知表を受け取ったら、受講した科目の成績評価が記載されているか必ず確認してください。記載されている成績評価について確認を行いたい場合は、速やかに申し出てください。一度採点された評価は原則として、変更されません。成績評価内容に関する不満や評価変更の願いは一切受付できません。また、期間外は一切受付できません。

□ 受付期間：3/24 (金) 成績ガイダンス終了後～17:00

3/27 (月) 9:00～17:00

3/28 (火) 9:00～17:00

□ 受付場所：学びステーション

(6) 各種証明書の発行について

各種証明書、学割証については、セントラルアーク 1 階の自動発行機 (IC 型) およびコアステーション 1 階の自動発行機 (現金型) で発行できます。証明書の発行には、学生証と証明書手数料が必要です。自動発行機には、IC 型と現金型があり、IC 型は、証明書手数料を生協 IC カードで支払います。

成績証明書

2016 年度後期の成績が反映された成績証明書は、4/1 (土) から出力できます。

卒業見込証明書・教育職員免許状取得見込証明書

4 回生以上の学生で、受講登録を行った結果、今年度中に卒業要件・教育職員免許状取得要件を満たす見込みがある場合、4/21 (金) から発行が可能です。

健康診断証明書

配当回生の健康診断日に健康診断を受診した場合は、5 月中旬に証明書発行機で発行が可能です。

2. 在学生への情報発信方法について

本学では、定期試験・レポート試験の情報、学修要覧・配布用授業時間割の訂正、各種ガイダンスの実施、学生呼出、休講・補講、教室変更などの諸連絡は、「CAMPUS WEB」を通じて連絡します。随時、確認してください。

情報によっては、Web MAIL や学部掲示板を通じて連絡を行うこともありますので、併せて確認してください。

CAMPUS WEB は、携帯電話・スマートフォンからも閲覧可能です。

利用マニュアル（大学のホームページから取得可能）を必ず読んでください。

< CAMPUS WEB ログイン方法 >

立命館大学

「在学生の方」をクリック



在学生の方

「CAMPUS WEB」をクリック



CAMPUS WEB ログイン面

「User ID」と「Password」を入力



ユーザーIDはメールアドレスの@より前の部分、パスワードはRainbowのパスワードです。

CAMPUS WEB トップ画面

Web 掲示板

個人 お知らせ manaba+R 履修 学生生活・課外活動 進路・就職支援 国際・語学 イベント お気に入り

・[Web 掲示板] ホームには、大学からのお知らせや授業の休・補講などの授業に関する情報が通知されます。4/6(木)から表示されます。

『My 時間割』は、4/11(火)から表示されます。

メニュー

- 【Web掲示板】ホーム
- 【Web掲示板】お知らせ検索
- 【Web掲示板】全授業の授業連絡検索
- My時間割
- 受講登録・試験・成績
- 進路・就職
- あなたの登録情報の確認・変更
- クラブ活動・体育会活動情報の確認・変更

学びのサポート

- manaba+R
- シラバス
- 教養教育
- 国際教育センター
- 図書館
- 学び支援ハンドブック
- 感染症に罹患したら
- キャンパスのバース
- 証明書
- 2014年度窓口時間

学部のリンク

- 経済学部ホームページ

あなたのリンク

- 日本経済新聞
- 国際平和ミュージアム
- 【あなたのリンク編集】

便利リンク

学術支援	国際・語学支援	サークル・課外活動	学生生活支援
WebMail	言語教育センター	課外活動の支援	学生生活ガイド
学年履	言語習得センター(CLA)	ボランティアをする	証紙・学位証・通学定期券
諸規程	立命館孔子学院	課外自主活動ハンドブック	セミナーハウスの利用について
学びステーション(BK2)	海外留学プログラム	学生イベント＆ポスター	奨学金
情報環境を便利にする(RAINBOW)	進路・就職・資格支援	アクセス	保健センター
学び支援サレ	キャリアセンター	シラバス時刻表	学生サポートルーム
大学院	キャリア教育センター	京都市営バス時刻表	障害学生支援室
大学院キャリアパス推進室	インターンシップオフィス	近江鉄道バス時刻表	ハラスメント相談

3 . 履修関連日程

(1) 受講登録とは

受講登録は、系統的に履修をすすめ、単位を修得していくための基本となるものです。
このため、受講登録手続きは、『学修要覧』『履修・登録の手引き』『授業時間割表』、シラバスに基づき、定められた期間に適切に行わなければなりません。

(2) 前期セメスター履修関連スケジュール

受講登録手続きは、以下の通りです。

期間名称 (対象者)	期間 (厳守)	注意事項	
抽選科目登録 (全員)	申請開始	4/3 (月) AM10:00 から	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAMPUS WEB で申請。 ・ 登録した翌日に CAMUPUS WEB の「受講登録状況確認」でエラーが表示されていないかを必ず確認してください。 ・ 4/6 (木) から授業開始。結果発表を確認し、許可科目を受講してください。
	申請終了	4/5 (水) AM11:00 まで	
	結果発表	4/6 (木) AM5:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAMPUS WEB で確認してください。
前期本登録 (全員)	申請開始	4/6 (木) AM10:00 から	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAMPUS WEB で申請。 ・ 4/6 (木) から授業開始。登録予定の科目を受講してください。 ・ 期間中であれば、何度でも科目の追加・削除ができます。 ・ 登録の翌日には必ずエラー表示がないか確認してください。
	申請終了	4/10 (月) AM11:00 まで	
前期本登録 失念者申し出	申請開始	4/18 (火) AM10:00 から	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期本登録期間内に受講登録が完了しなかった者が対象 (受講登録誤りにより修正が必要な場合を含む)。 ・ 申し出の方法については、前期本登録期間終了後に CAMPUS WEB で通知します。
	申請終了	4/24 (月) AM11:00 まで	
個人別時間割表 PDF 公開 (全員)		4/21 (金) AM5:30 から	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAMPUS WEB の「個人別時間割表 (卒業見込確認)」にて、PDF 形式で個人別時間割表を公開します。 (詳細は次ページを確認してください) (2015 年度から個人別時間割表の紙の配布はなくなりました)
前期本登録 失念者登録	申請開始	4/26 (水) AM10:00 から	<p>で申し出た者のみ失念者登録期間に受講登録を認めます。 なお、申し出内容によっては受講登録を認めない場合があります。</p>
	申請終了	4/27 (木) AM11:00 まで	
前期受講辞退	申請開始	4/28 (金) AM10:00 から	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAMPUS WEB で申請。 ・ 抽選科目等、受講辞退できない科目もあります。
	申請終了	5/1 (月) AM11:00 まで	
個人別時間割表 PDF 公開		5/15 (月) AM5:30 から	<ul style="list-style-type: none"> ・ 失念者登録期間・受講辞退期間に変更した者が対象です。 ・ 登録内容をよく確認してください。

後期セメスター履修関連スケジュールは、前期成績発表時に改めて連絡します。

(3) 定められた期間以外の受講登録・受講辞退

定められた期間以外の受講登録・受講辞退は認めません。

(4) 前期本登録後に登録単位数が0単位の学生・保証人への通知について

前期本登録期間に受講登録を行わなかった場合、学生本人および保証人に対して確認文書を通知します。

5. 受講登録について

(1) 年間受講登録制限単位数

前期・後期のバランスを考えて、4月に1年間分の受講登録をするように心掛けてください。後期修正登録は、前期の成績結果を踏まえ、履修計画の修正が必要な場合に行ってください。

年間登録制限単位数

2012年度以降入学生		2011年度以前入学生	
教養基礎科目 + 基礎専門科目 + 専門科目 46単位	自由科目 制限なし	基礎科目 + 基礎専門科目 + 専門科目 48単位	自由選択科目 制限なし

前期に不合格（F評価）となった科目の単位数も年間受講登録制限単位数に含まれます。
年間受講登録制限単位数に含まない科目

2012年度以降入学生	2011年度以前入学生
リメディアル科目（数学基礎・物理基礎） 国際平和交流セミナー 特殊講義（自由）	異文化理解セミナー 特殊講義（自由選択）
他学科受講科目 全学インターンシップ科目 コーオプ教育概論 教職に関する科目、「(教)」のつく教科に関する科目、教科又は教職に関する科目 単位互換科目（大学コンソーシアム京都、環びわ湖大学・地域コンソーシアムで他大学が提供する科目）	他学部受講科目 海外留学プログラム科目 コーオプ演習 APU 交流科目

(2) 「CAMPUS WEB」の受講登録画面へのアクセスについて

受講登録申請から翌日のエラー確認までを、必ず期間内に余裕を持って登録を行ってください。

CAMPUS WEB トップ画面「受講登録・試験・成績」

学生メニュー画面「受講登録（授業コード形式）」



受付期間中のAM2:00 ~ AM5:30を除く時間帯での申請が可能です。

CAMPUS WEBへのログイン後、何も操作をしない場合、30分経過時点で接続が強制切断（タイムアウト）します。提出前であれば、それまでに入力した内容は破棄されてしまいますので、注意してください。

『CAMPUS WEBによる受講登録』と『manaba+Rの授業エントリー』は異なります。

CAMPUS WEBで登録ができない場合は、各登録受付期間内に理工学部事務室へ相談に来てください。

(3) 受講登録エラーについて

「受講登録（授業コード形式）」に表示される受講登録エラー等の確認を怠ったことによる不利益は、一切救済されません。

簡易チェック（登録時に処理）

CAMPUS WEB から受講登録申請（授業コード入力）する際に、即時に簡易な確認を行います。入力された授業がカリキュラム上、履修可能な科目かどうか、曜日時限が重複していないか、などのチェックを行います。

詳細チェック（登録日の深夜に処理）：エラーの有無を登録翌日に「受講登録状況確認」で確認してください。

受講登録申請された授業にエラーがないか、翌日までに詳細な確認を行います。詳細チェックの結果は、入力日の翌日以降に CAMPUS WEB 「受講登録状況確認」画面で確認することができます。必ず確認し、エラーが出ている場合は、その場で修正してください。登録期間中であれば、何回でも修正することができます。

エラー内容(一例)

登録不可科目:登録を認められていない科目を登録している。

科目重複エラー:同じ科目(クラス違いなど)を登録している。

登録単位数超過:年間受講登録制限単位数を超えている。

既修エラー:すでに同一科目を履修済み。

曜日時限重複エラー:同じ曜日・時限で登録している。

取消不可エラー:取消できない科目を取消そうとしている。

(4) 受講登録で注意が必要な科目

配当回生限定科目

科目によって履修できる回生が決まっています。自分の回生より下の回生に配当されている科目は受講することができますが、自分の回生より上回生に配当されている科目（他学科を含む）は受講できません。

履修指定科目の履修方法

履修指定科目（科目一覧で「」印がついた科目）は、定められた回生で必ず受講登録をする必要がある科目です。ただし、この科目の単位を修得できなかったとしても卒業要件を満たしていれば卒業はできます。

特殊講義（ 科目）について

科目名に「特殊講義」の表記がつく科目は、必ずしも毎年度開講が予定されるものではありません。受講登録に当たっては、その都度、時間割で十分確認してください。特殊講義は、同じ科目名の授業でも授業担当教員が違っていれば、2回以降も受講登録できますが、同じ科目名の授業で授業担当教員が同じ場合は、開講セメスター、回生、学科が変わっても2回以上履修することはできません。

夏期集中講義科目の受講登録について

夏期集中講義科目は、同一週に開講される授業を並行して履修することができません。受講登録の際は、同じ週に開講されていないかよく時間割を確認してください。もし誤って受講登録した場合は、前期の受講辞退期間に CAMPUS WEB を利用して受講を取り消してください。

実験科目

実験科目の再履修を希望する場合は、最初に行われるガイダンスに出席し、担当教員と相談してください。

【2011年度以前入学者対象】「特殊講義（自由選択）（大学アスリート入門）」、「特殊講義（自由選択）（アスリートのためのアカデミック・スキルズ）」の取得単位の扱い

上記2科目は、所属学科に関係なく、自由選択科目の単位数としては算入されません。「卒業研究」受講要件や卒業に必要な単位数に含まれませんので、十分に注意してください。

「外国留学科目」「外国留学特修科目」について

理工学部学生が国際部の実施する国際教育（海外派遣）プログラムに参加し、留学先（海外）の大学が開講する科目を受講し、留学先の大学から単位を取得した場合は、次の科目名で単位が認定されることがあります。

認定科目分野	認定科目名	成績評価
教養基礎科目（2012年度以降入学生）	外国留学科目（教養B）	N
基礎科目（2011年度以前入学生）	外国留学科目（基礎）または外国留学特修科目	
基礎専門科目	外国留学科目（基礎専門）または外国留学特修科目	
専門科目	外国留学科目（専門）または外国留学特修科目	

交換留学帰国時の履修上の注意点

本学のセメスター開始日までに帰国（帰国届を事務室に提出）できない場合は、前期および通年で開講される科目は、原則として受講登録することができません。ただし、4月末までに交換留学から帰国（帰国届を事務室に提出）できる場合は、その帰国時年度の前期に開講される次の科目に限り受講登録ができます（選択科目・選択必修科目は受講不可）。ただし、4月末までの欠席した授業については、出席回数（条件）に含まれません。

受講対象科目	
必修科目 <科目一覧で「 」印がついた科目>	(教)教育実習の研究(事前指導)<通年/教職に関する科目>
必修外国語	(教)学校教育演習 <通年/教科又は教職に関する科目>
履修指定科目 <科目一覧で「 」印がついた科目>	(教)介護等体験実習 <通年/教科又は教職に関する科目>
卒業研究 <通年>	(教)教育実習 (事後指導を含む)<通年/教職に関する科目>

【教職科目の注意点】

- (教)教育実習 または を受講するには、定められた履修要件を満たし、かつ履修前年度中に実習校が確保できていなければなりません。
- (教)教育実習の研究、(教)学校教育演習、(教)介護等体験実習を受講するには、それぞれに定められた履修要件を満たしていなければなりません。

(5) 受講クラスについて

同一科目を複数クラスで開講している科目は、次の表に従って、指定されているクラスを受講登録しなければなりません。English Diploma Course を除く教養基礎科目、基礎科目、基礎専門科目、専門科目、自由科目、自由選択科目で、複数クラスに分かれているものは、学科指定を守った上で、自分自身の時間割の都合に合わせてクラスを選択できます。

【注意】自分自身で間違いに気付いた受講クラスの変更だけでなく、教員からの指示で受講クラスを変更する場合でも、受講登録変更が必要です。自分自身で受講登録変更ができない場合は、理工学部事務室に相談してください。

【注意】新カリキュラム用のクラスと旧カリキュラム用のクラスが開講されている科目は、同じ科目名称であっても、自身のカリキュラムのクラスを受講してください。自身のカリキュラムでないクラスを受講登録しても無効になる場合があるので注意してください。当該科目は授業時間割表を参照してください。

クラス記号の見方

受講対象	クラス数 開講形態	数理科学科	物理科学科	電気電子工学科	電子情報デザイン学科	電子情報工学科	電子光情報工学科	機械工学科	ロボティクス学科	マイクロ機械システム工学科	都市システム工学科	環境システム工学科	建築都市デザイン学科
学科	1クラス開講	T1	T2	T8	6T	4T	T5	5T	7T	T6	3T	8T	
	1クラス開講(旧カリ)	X1	X2	X8	6X	4X	X5	5X	7X	X6	3X	8X	
	2クラス以上開講	A1 B1 ...	A2 B2 ...	A8 B8 ...	6A 6B ...	4A 4B ...	A5 B5 ...	5A 5B ...	7A 7B ...	A6 B6 ...	3A 3B ...	8A 8B ...	
	2クラス以上開講(旧カリ)	X1 Y1 ...	X2 Y2 ...	X8 Y8 ...	6X 6Y ...	4X 4Y ...	X5 Y5 ...	5X 5Y ...	7X 7Y ...	X6 Y6 ...	3X 3Y ...	8X 8Y ...	
学系	合併開講1クラス	12		48、68			55			36			
	合併開講2クラス以上	-		GA、GB、...			GA、GB、...			GA、GB、...			
全学科	1クラス開講	T											
	2クラス以上開講	TA、TB、...											
	再履修・旧カリキュラム	V、W、X、Y、Z											

複数クラス開講科目の分割方法

表に示す番号は、学生証番号のチェックデジット(-)を除く下3桁を示しています。

(例) 学生証番号が「2230160087-1」であれば 「087」(環境システム工学科の87番)

- 新2回生(2016年度入学生) -

学科	回生	科目名	クラス名と分割方法							
数理科学科	2回生	現象数理セミナー・	A1		B1					
	2回生	構造数理セミナー・	1~53		54~終					
物理科学科	2回生	計算物理学1・2	A2		B2					
	2回生	物理数学演習	1~54		55~終					
	2回生	基礎物理学実験								
電気電子工学科	2回生	幾何光学	A8	B8	C8	D8				
	2回生	アルゴリズムとデータ構造	1~87	88~終						
	2回生	複素関数論								
	2回生	確率統計								
	2回生	フーリエ解析	1~57	58~118	119~終					
	2回生	電子回路								
	2回生	電気電子工学実験・								
	2回生	論理回路								
2回生	プログラミング演習	1~43	44~87	88~133	134~終					
電子情報工学科	2回生	応用Cプログラミング	6A		6B					
	2回生	ハードウェア設計言語	1~49		50~終					
機械工学科 (学系合併科目は 下の「機械システム系 合併科目」を参照)	2回生	CAD演習	A5	B5	C5	D5	E5	F5		
	2回生	機械システム演習	1~120	121~終						
	2回生	機械基礎実験	1~99	100~終						
	2回生	機械基礎実験	1~50	51~99	100~148	149~終				
2回生	機械工作実習	1~18	19~59	60~99	100~139	140~179	180~終			
ロボティクス学科 (学系合併科目は 下の「機械システム系 合併科目」を参照)	2回生	CAD演習	5A		5B		5C		5D	
	2回生	プログラミング演習	1~51	52~終						
	2回生	力学演習								
	2回生	数学演習								
	2回生	機械工作実習	1~16	17~51	52~67	68~終				
機械システム系 合併科目	2回生	(機械)流体力学 (ロボ)流体力学	GA		GB					
	2回生	(機械)熱力学 (ロボ)熱力学								
	2回生	制御工学	機械工学科: 1~99 ロボティクス学科: 1~51		機械工学科: 100~終 ロボティクス学科: 52~終					
	2回生	解析力学								
	2回生	電気電子回路								
	2回生	材料力学・								
	2回生	応用数学・								
都市システム工学科	2回生	土質力学演習・	A6		B6					
			1~52		53~終					
環境システム工学科	2回生	データ処理演習	3A		3B					
			1~42		43~終					

学科	回生	科目名	クラス名と分割方法	
建築都市デザイン学科	2回生	CAD/CG 演習	8A	8B
	2回生	ヴィジュアルイズ演習	1~43	44~終
	2回生	建築都市デザイン演習		

- 新3回生(2015年度入学生)・新4回生(2014年度入学生) -

学科	回生	科目名	クラス名と分割方法			
数理科学科	3回生	数理科学セミナー	A1	B1	C1	
	3回生	専門演習	配属されたクラスに受講登録してください。 (事前に配属を受けていない場合は登録不可)			
物理科学科	3回生	量子力学演習	A2	B2		
			1~51	52~終		
電気電子工学科	3回生	確率統計	A8(X8)	B8(Y8)	C8	
	3回生	通信工学				
	3回生	パワーエレクトロニクス				
	3回生	制御工学				
	3回生	電子回路				
	3回生	電磁波工学				
	3回生	半導体工学				
	3回生	画像情報工学				
	3回生	電子回路演習	1~84	85~終		
編入学生には、この科目の受講クラスを別途指示します。	3回生	電気電子工学実験	1~55	56~110		111~終
	4回生	回路設計CAD	1~83	84~終		
機械工学科 (学系合併科目は 下の「機械システム系 合併科目」を参照)	3回生	数値計算演習	A5	B5	C5	D5
	3回生	流体力学	1~179	181~終		
	3回生	CAD 演習				
	3回生	機械システム演習				
	3回生	機械システム実験	1~83	85~179	181~246	248~終
ロボティクス学科 (学系合併科目は 下の「機械システム系 合併科目」を参照)	3回生	ロボット実験	5A		5B	
	3回生	ロボット設計演習	1~153		157~終	
機械システム系 合併科目	3回生	機械力学	GA		GB	
	3回生	数値計算	機械工学科：1~179 ロボティクス学科：1~153		機械工学科：181~終 ロボティクス学科：157~終	
	3回生	確率統計学				
	3回生	計測工学				
	3回生	制御工学				
都市システム工学科	3回生	設計演習	選考によりクラス決定 (A6~C6)			
環境システム工学科	3回生	環境システム専門演習	選考によりクラス決定 (3A~3L)			
建築都市デザイン学科	3回生	建築都市デザイン演習	8A	8B		
	3回生	特殊講義(専門) (BIM 総合演習)	1~36	1~36		37~終
	3回生		1~36	37~終		

(6) 小集団教育科目 (2017 年度開講科目)

1・4 回生配当科目は「小集団科目」、2・3 回生配当科目は「準小集団科目」として位置づけられています。

<2016 年度以降入学者 (新 1・2 回生) >

配当 回生	数理科学科	物理科学科	電気電子工学科	電子情報工学科
1 回生	数学序論 数学序論	力学 1 力学 2	電気電子工学入門 電気電子工学概論	電子情報工学入門 電子情報工学演習
2 回生	現象数理設計 現象数理設計	電磁気学 1 量子力学 1	電気電子工学実験 電気電子工学実験	電子情報工学実験 電子情報工学実験
3 回生	複素解析学 複素解析学	固体の物理学 1 固体の物理学 2	電気電子工学実験 電気電子工学応用演習	電子情報工学実験 電子情報工学応用演習
4 回生	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究

配当 回生	機械工学科	IT 工学学科	都市システム工学科	環境システム工学科	建築都市デザイン学科
1 回生	機械工学概論 力学演習	IT 工学概論 情報処理演習	都市システム工学概論 まちづくり演習入門	環境システム工学概論 環境デザイン実習	建築都市デザイン概論 建築環境工学概論
2 回生	CAD 演習 機械システム演習	CAD 演習 プログラミング演習	計画理論演習 構造力学演習	環境質評価法 環境管理調査実習	建築構造力学 建築計画
3 回生	CAD 演習 数値計算演習	IT 工学実験 ロボット創造実験	河川工学 交通計画演習	環境システム専門演習 特殊講義 (卒業研究入門)	環境共生工学演習 都市デザイン
4 回生	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究

<2015 年度以前入学者 (新 3 回生以上) >

配当 回生	数理科学科	物理科学科	電気電子工学科	電子情報工学科
1 回生	数学序論 数学序論	力学 1 力学 2	電気電子工学入門 電気電子工学概論	電子情報工学入門 電子情報工学演習
2 回生	現象数理設計 現象数理設計	電磁気学 1 量子力学 1	電気電子工学実験 電気電子工学実験	電子情報工学実験 電子情報工学実験
3 回生	複素解析学 複素解析学	固体の物理学 1 固体の物理学 2	電気電子工学実験 電気電子工学応用演習	電子情報工学実験 電子情報工学応用演習
4 回生	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究

配当 回生	機械工学科	IT 工学学科	都市システム工学科	環境システム工学科	建築都市デザイン学科
1 回生	機械工学概論 力学演習	IT 工学概論 情報処理演習	都市システム工学概論 まちづくり演習入門	環境システム工学概論 環境デザイン実習	建築都市デザイン概論 建築環境工学概論
2 回生	CAD 演習 機械システム演習	CAD 演習 プログラミング演習	計画理論演習 構造力学演習	環境指標 環境管理調査実習	建築構造力学 建築計画
3 回生	CAD 演習 数値計算演習	ロボット実験 ロボット実験	河川工学 交通計画演習	環境システム専門演習 特殊講義 (卒業研究入門)	環境共生工学演習 都市デザイン
4 回生	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究

6. 先着科目について

先着科目は、先着順によって受講者を決定します。受講希望者は、期間内に各自で登録方法を確認の上、手続きを行ってください。

(1) 先着科目登録に関わる確認事項・注意点

- 前期開講科目・夏期集中科目・後期開講科目ともに前期（4月）に登録を行う必要があります。
- 許可された科目は、自動的に登録されますので、各自で登録する必要はありません。
- 受け付け後の辞退は一切できませんので、時間割の重複等がないように、しっかり確認した上で登録してください。

(2) 先着科目

外国語原級復帰 <2回生以上対象>・・・次ページを参照

上記以外に、別途 CAMPUS WEB、学部ホームページ等で先着科目と案内がされている科目

外国語原級復帰 <新2回生以上対象>

()新2~6回生(2012年度~2016年度入学生)対象の必修英語の単位回復について

不合格となった必修英語科目の単位回復については、下記をよく読んだ上で登録手続きをしてください。また、学修要覧の『多様な外国語科目について』の章も必ず確認してください。

【単位回復の方法】

「英語1」～「英語8」の単位を取得できなかった場合は、次年度に同じ科目を受講してください（原級復帰）。原級復帰してもなお単位が取得できなかった場合は、「再履修英語」を受講してください。

【原級復帰について】

原級復帰するクラス	AD、IH、IL レベルの科目を落とした場合は、IL レベルの同一科目に原級復帰してください。 BA レベルの科目を落とした場合は、BA レベルの同一科目に原級復帰してください。 (グループ区分にかかわらず、空きがあればどのクラスにも原級復帰できます。)
登録方法	希望するクラスを先着順で受付します。 クラスごとに原級復帰できる人数が決まっていますので、希望のクラスを登録できない場合があります。希望のクラスをいくつか考えた上で、受付場所で早めに手続きをしてください。
受付期間	2017年3月27日(月)~2017年3月31日(金)の10:00~17:00 土・日および11:30~12:30を除く 受付は先着順です
受付場所	コアステーション1階 理工学部事務室前 一度申請した科目・クラスは変更できません。よく考えた上で申請してください。
持参物	成績通知表(確認のため持参してもらいます。回収は行ないません)
その他	申請にあたって、2016年度後期成績通知書を必ず持参してください。窓口での受付が完了すれば、CAMPUS WEBによる登録の必要はありません。後日、CAMPUS WEB等で申請クラスが正しく登録されているか、また何らかのエラーが出ていないか自分で必ず確認してください。

()新7回生以上(2011年度以前入学生)対象の外国語科目の単位回復について

<単位回復の方法>

英語	単位が取得できていない必修英語科目(「英語1」~「英語10」)がある場合は、「再履修英語(English for Retakers)」を受講してください。重複受講できません(学修要覧の『多様な外国
----	--

	語科目について』を必ず確認してください) 2012年度カリキュラム改訂により、2014年度から、2011年度以前入学生は同一科目への原級復帰はできません。
ドイツ語 フランス語 中国語	不合格となった初修外国語科目は、履修している言語の「ミニマム 語」を受講登録してください。 2012年度から原級復帰用「 語・基礎/展開」のクラスは開講していません)、「ミニマム 語」の成績評価は、「C」・「F」のみとなります。

<受講登録手続き>

【「再履修英語」「ミニマム 語」の受講登録手続】

再履修英語	CAMPUS WEB で抽選科目の登録期間に申請を行ってください。定員を超える申込みがあった場合には、抽選によって受講者を決定します。 【手続期間】4月3日(月)10:00~4月5日(水)11:00
ミニマム語	CAMPUS WEB で本登録期間に受講登録を行ってください。 【手続期間】4月6日(木)10:00~4月10日(月)11:00

7. 選考科目・別途募集科目について

選考科目・別途募集科目は、エントリーを必要とし、選考によって受講者を決定します。受講希望者は、期間内に各自で登録方法を確認の上、手続きを行ってください。

(1) 選考科目・別途募集科目登録に関わる確認事項・注意点

- 前期開講科目・夏期集中科目・後期開講科目ともに前期(4月)に登録を行う必要があります。
- 許可された科目は、自動的に登録されますので、各自で登録する必要はありません。
- いったん許可された科目については、取消、変更は一切できませんので、時間割の重複等がないように、しっかり確認した上で登録してください。

(2) 選考科目・別途募集科目

専門ゼミナール

地学実験、(教)地学実験、実践物理学実験

教養基礎科目・基礎科目

大学間単位互換制度

上記以外に、授業時間割表の登録方法欄に「選考」「別途募集」と記載の科目

~ 以外に、他学部受講科目等で選考科目・別途募集科目があります(3回生以上のみ)。それらについては、他学部受講可能科目一覧で、確認してください。他学部受講可能科目一覧は、「理工学部ホームページ」を参照してください。

「専門ゼミナール」

「専門ゼミナール」は、授業で設定されるクラスごとに定められたテーマについて学科・回生の異なる学生同士が、主体的・能動的にグループで学びあう学科横断型の科目です。詳細は「9.専門ゼミナール」のページを参照してください。

地学実験、(教)地学実験、実践物理学実験

<申請方法>

申請期間内に以下のホームページのエントリー画面から必要事項(学生証番号・学部・学科・氏名・教職課程履修の有無など)を入力してエントリーを行ってください(RAINBOW ID・パスワードが必要です)。内容を基に選考を行います。

<開講科目一覧・登録期間・結果発表>

科目	注意点	申請期間	結果発表
3回生以上 地学実験 (教)地学実験	募集定員は25名です。	3/24(金)AM10:00~ 3/30(木)AM11:00	4/4(火)17:00 CAMPUS WEB
物理科学科2回生のみ 実践物理学実験	2017年度から開講する選考科目です。 募集定員は18名です。		

教養基礎科目・基礎科目

教養科目の詳細は、教養教育センターのホームページを確認してください。

教養教育センターセミナーホームページ

CAMPUS WEB から『学びのサポート』の「教養教育」をクリック

<URL> <http://www.ritsumeai.ac.jp/liberalarts/>

<開講科目一覧・登録期間・結果発表>

群	科目名	申請手段	年間受講登録上限単位	登録申請期間	選考結果発表()	CAMPUS WEB「受講登録状況確認」画面への反映日時
A	国際平和交流セミナー	WEB	含まれない	4/13(木)10:00~ 4/24(月)11:00	4/28(金)13:00	9/26(火)10:00
B	Theme Study	WEB	含まれる	3/23(木)10:00~ 4/5(水)11:00	4/7(金)15:00	4/8(土)5:30
	Cross-cultural Encounters					
	Basic Communication Skills					
	Advanced Seminar					
	Basic Academic Skills					
	Intermediate Academic Skills					
Intermediate Seminar						
C	社会とキャリア	WEB	含まれる	3/23(木)10:00~ 4/6(木)11:00	4/7(金)15:00	4/8(土)5:30
	コーオブ演習	窓口	含まれない	4/24(月)~5/8(月)	5/26(金)	9/26(火)10:00
	全学インターンシップ (キャリア教育センター-開講クラス)	窓口	含まれない	夏期:5月下旬~6月 春期:11月下旬~12月	夏期:6月中旬 春期:12月中旬	9/26(火)10:00
	コーオブ教育概論	WEB	含まれない	6/1(木)~6/15(木)	6/21(水)	9/26(火)10:00
	シチズンシップ・スタディーズ	WEB	含まれる	3/23(木)10:00~ 4/6(木)11:00	4/7(金)15:00	4/8(土)5:30
	全学インターンシップ (サービスラーニングセンター-開講クラス)	WEB	含まれない	4/13(木)10:00~ 4/24(月)11:00	4/28(金)13:00	9/26(火)10:00
E	教養ゼミナール	WEB	含まれる	3/23(木)10:00~ 4/6(木)11:00	4/7(金)15:00	4/8(土)5:30
	異文化間テーマ演習	WEB	含まれる			

選考結果は、教養教育センターホームページ右上「在学生の皆さんへ」のページにて発表します。

なお、前期の選考結果を受け、定員に空きのある一部の後期開講クラスは、後期開講前に追加募集を行います。詳細は、9月中旬にCAMPUS WEBで案内します。

<登録方法>

[WEB申請]

1. 教養教育センターホームページ(CAMPUS WEB から『学びのサポート』の「教養教育」)の右上「在学生の皆さんへ」のページにアクセスする。
2. 科目(もしくは各クラス)ごとに開設されたリンクをクリックする。
3. リンク先の登録申請画面にログインし、必要事項(学生証番号・氏名・志望理由等)を入力する。
一度入力した内容を変更したい場合は、再度、申請画面にログインをし、『回答データを変更する』または『回答データを削除して新規に回答する』のいずれかをクリックして申請しなおすこと。
4. 教養教育センターホームページ(CAMPUS WEB から『学びのサポート』の「教養教育」)の右上「在学生の皆さんへ」のページにアクセスし、選考結果を確認する。
5. CAMPUS WEB「受講登録状況確認」画面にて受講が許可された科目が登録されているかを確認する。

[窓口申請] キャリア教育科目のうち「全学インターンシップ」「コーオプ演習」のみ

1. キャリア教育センター(衣笠キャンパス:有心館1階、BKC:アドセミナリオ1階、OIC:A棟1階AN事務室)で配布しているエントリーシートを入手し、記入する。
2. 記入済みのエントリーシートを期日までにキャリア教育センターに提出する。
3. 教養教育センターホームページ(CAMPUS WEB から『学びのサポート』の「教養教育」)の右上「在学生の皆さんへ」のページにアクセスし、選考結果を確認する。
4. CAMPUS WEB「受講登録状況確認」画面にて受講が許可された科目が登録されているかを確認する。
詳細については4月に実施するガイダンスで説明します。

<注意点>

各科目・クラスの詳細を、ホームページに掲載しています。登録申請にあたって、必ず該当のホームページおよびオンラインシラバスで、授業の内容を確認してください。

登録申請する授業と、抽選登録や本登録を行う授業の曜日時限が重複していないか必ず確認してください。

登録申請する授業の受講が許可されると、その単位数は、年間受講登録上限単位数に含まれます(年間受講登録上限単位数に含まれる科目のみ)

受講が許可された場合は、事務局にて受講登録を行いますので、各自で登録する必要はありません。また、受講辞退や受講登録修正による取消はできません。

受講登録の結果は、CAMPUS WEB「受講登録状況確認」画面に反映されますので、必ず確認してください。

曜日時限重複や年間受講登録上限単位数オーバーによりエラーが生じた場合、登録申請を行った科目の受講を取り消します。

登録申請者が5名未満のクラスは閉講します。閉講の場合は、選考結果発表時に案内します。

選考結果発表前に第1回目の授業がある場合は、結果発表を待たずに出席してください。

<各科目について>

() 国際平和交流セミナー <A群>

「国際平和交流セミナー」は、夏期休暇期間に担当教員とともに現地を訪問し、国際的な体験学習を通して、平和の構築、国際理解と協力の道を探る教養科目(2単位)のプログラムです。夏期休暇期間に実施する1週間~10日間の現地研修に加えて、前期に3回の事前研修と後期に1~2回の事後研修も行います。

クラス	プログラム名およびテーマ	担当教員	募集定員
GA	広島・長崎プログラム: 被爆の実相に触れ、核の惨事の原因と防止策を世界の学生たちと語り合う -南京事件から80年、日本国憲法施行から70年目の被爆地にて-	藤岡 惇	15

GB	韓国プログラム： いまこそ『日韓』を学ぼう 釜山とソウルで語り学ぶ日韓関係の歴史と現在	鄭 雅英	25
GC	中国プログラム： 中国の大学生との交流、現地研修を通じて日中交流、相互理解と日中友好の重要性を考える	曹 瑞林	20

<注意事項>

- ・本科目は通年科目です。単位授与の時期は後期 Semester 末ですので、後期に在学しない場合（＝後期に休学もしくは留学中である場合）は応募できません。
- ・下記の日程でガイダンスを行いますので、本科目に興味がある人はぜひ参加してください（昼食持参可）。

キャンパス	日時	会場
BKC	4月13日(木)12:20～12:50	「国際平和交流セミナー」ホームページで確認してください。

() 国際教養科目 <B群>

国際教養科目（教養科目 B 群）は、国際化社会における異文化の相互理解の基礎となる科目群です。国際教養科目区分、異文化交流科目区分、海外留学科目区分という3つの科目区分からなり、特定のテーマについて少人数で議論する演習科目、キャンパス内で留学生とともに異文化間コミュニケーションを学ぶ科目、海外留学に向けてスキルアップする科目などを開講しています。すべて英語もしくは初修外国語で授業を行います（一部の科目では日本語も取り入れます）。授業で前提としている言語レベルや国際交流の関わり度合いを段階的に位置づけているため、自分に合った科目を選択できます。

() キャリア教育科目 <C群>

「企業での就業体験」「企業の直面する課題をチームで解決する」「本学OB・OGを授業に招いて仕事観やキャリア観について考察する」等、主に実社会との接触を通じて、自らの進路やキャリアを切り拓く科目です。

[注意事項]

「全学インターンシップ」および「コーオプ演習」の受講についてのガイダンスを、下記の日程で実施しますので、これらの科目に興味がある学生はぜひ参加してください。

キャンパス	日時	会場
衣笠	4月12日(水)、18日(火)18:15～19:45	キャリア教育センターホームページで確認してください。
BKC	4月13日(木)、19日(水)18:15～19:45	
OIC	4月11日(火)、17日(月)18:15～19:45	

全て同じ内容のガイダンスですので、都合の良い日程に参加してください。

ガイダンスへの参加は履修にあたっての必須条件ではありません。

ガイダンスに参加できなかった人は、キャリア教育センター（衣笠キャンパス：有心館1階、BKC：アドセミナリオ1階、OIC：A棟1階AN事務室）に来室してください。資料の配布やプログラムの説明を行います。

[単位授与について]

全学インターンシップ（2回生以上）

入学年度	科目名	単位授与区分	要卒単位における上限
2011年度以前	国内インターンシップ 海外インターンシップ	自由選択	2科目以内かつ、8単位以内 数理科学科及び物理科学科については、自由選択科目での単位は認定しますが卒業に必要な単位数には含みません。

2012 年度以降	全学インターンシップ	教養科目 C 群	8 単位以内 これを超えた単位数は卒業に必要な単位数には含みません。
-----------	------------	----------	---------------------------------------

コーオブ演習（3 回生以上）重複受講不可

入学年度	科目名	単位授与区分	単位認定に関する備考
2011 年度以前	特殊講義(自由選択) (コーオブ演習)	自由選択	数理科学科及び物理科学科については、自由選択科目での単位は認定しますが卒業に必要な単位数には含みません。
2012 年度以降	コーオブ演習	教養科目 C 群	

() サービスラーニング科目 <C 群>

主に NPO・NGO や地域の市民団体、行政機関と共働して、まちづくり・伝統文化・地域福祉・環境保護・地域防災・災害復興などの身近な社会の課題や問題を地域の人々と一緒に考え、汗を流し、解決していくことを通じてシチズンシップを学ぶ科目です。

() 教養ゼミナール科目 <E 群>

「教養ゼミナール」とは、学部が異なる学生同士や回生が異なる先輩・後輩が 1 つのクラスに集まって学ぶ小集団形式の教養科目です(1 セメスター 2 単位)。毎年、各キャンパスで様々なテーマのクラスが開講されており、自分の興味・関心に応じたクラスを選択することができます。

() 異文化間テーマ演習 <E 群>

「異文化間テーマ演習」は、正規レベルの日本語力を有する正規留学生と国内学生が協働学習を行う演習形式の科目です。現代の政治、経済、文化、社会状況等について書かれた文章や統計資料をもとに、討論や調査分析・発表等を通して、他文化・多文化についての理解を深めます。

大学間単位互換制度

<概要>

環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度(滋賀県内の大学)および大学コンソーシアム京都単位互換制度(主に京都地域を中心とした大学)とは、他大学の科目を履修し、それを立命館大学の単位として認定する制度です。皆さんの幅広い関心と興味に応じて、本学にはない分野の科目を学ぶことが可能です。

<登録方法>

本科目は通常の受講登録ではなく、履修希望科目の出願を受け、許可発表を行います。許可された学生のみ、大学で、一括で受講登録をします(受講登録制限外の科目となります)。出願できるのは、本学以外の大学が提供している科目のうち 1 年度につき 2 科目までです。

募集ガイド(シラバス含む)や受講登録方法、申請期間、注意事項などについては下記のホームページを参照してください。

< URL > <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/consortium.html>

8. 抽選科目について

受講者数を制限している科目は、受講本登録に先立って受講者を決定します。申請者が定員を超過した科目は、抽選によって受講者を決定します。受講希望者は、期間内に各自で CAMPUS WEB で手続きを行ってください。

(1) 抽選科目に関わる日程

	日程	手続方法
抽選登録期間	4/3(月)AM10:00 ~ 4/5(水)AM11:00 <AM2:00 ~ AM5:30 を除く >	CAMPUS WEB の「受講登録・試験・成績」 「受講登録(授業コード形式)」 WEB 申請後、申請内容が CAMPUS WEB に配信されます。内容を確認してください。 この時点で受講が許可されたわけではありませんので注意してください。
結果発表	4/6(木) AM5:30	CAMPUS WEB の「受講登録・試験・成績」 「抽選科目 抽選結果(照会)」

(2) 抽選科目登録に関わる確認事項・注意点

- 前期開講科目・夏期集中科目・後期開講科目ともに前期(4月)に登録を行う必要があります。
- 許可された科目は、自動的に登録されますので、各自で登録する必要はありません。
- いったん許可された科目については、取消、変更は一切できませんので、時間割の重複等がないように、しっかり確認した上で登録してください。

(3) 抽選科目

スポーツ方法実習 ・

再履修英語 <3 回生以上対象 >

特殊講義(教養 E) (国の行政組織) <1・2 回生対象 >

特殊講義(基礎専門) (理工系日本語の技法) <1 回生 ~ 6 回生対象 >

生物学実験・(教)生物学実験

上記以外に、授業時間割表の登録方法欄に「抽選」と記載されている科目

~ 以外に、他学部受講科目等で抽選科目があります(3 回生以上のみ)。それらについては「他学部受講可能科目一覧」で、確認してください。他学部受講可能科目一覧は、「理工学部ホームページ」を参照してください。

スポーツ方法実習 ・

<概要 >

グループ	種目	履修条件
A	バスケットボール・ソフトボール・テニス・ヨガ	「スポーツ方法実習」(前期開講)・「スポーツ方法実習」(後期開講)の各科目内で、 異なるグループから 2 クラス(2 単位)まで、 (・ あわせて 4 クラス(4 単位)まで) 受講でき、卒業必要単位として認められます。
B	バレーボール・サッカー・水中運動	
C	卓球・エクササイズ・ウォーキング	
D	バドミントン・アダプテッドスポーツ()	

クラス名は各グループのアルファベットと数字で表記されています(A1、B2 など)。各グループのクラス名は「2017 年度スポーツ方法実習 ・ 開講クラス一覧」で確認してください。

履修例： 「スポーツ方法実習 」から2クラス、「スポーツ方法実習 」から2クラスを履修する場合

履修可否	前期 「スポーツ方法実習 」	後期 「スポーツ方法実習 」	理由
前期・後期ともに履修できる	(A) バスケットボール	(A) バスケットボール	前期「 」の中で、異なるグループを選択しているため履修可。 後期「 」の中で、異なるグループを選択しているため履修可。
	(B) バレーボール	(C) 卓球	
前期・後期ともに履修できない	(A) バスケットボール	(C) 卓球	前期・後期ともに、「 」または「 」の中で、同一グループを選択しているため履修不可。
	(A) バスケットボール	(C) エクササイズ	
前期は履修できるが後期は履修できない	(A) バスケットボール	(B) サッカー	前期「 」の中で、異なるグループを選択しているため履修可。 後期「 」の中で、同一グループを選択しているため履修不可。
	(B) バレーボール	(B) バレーボール	

< 注意点 >

- ・ 抽選結果を受け、定員に空きのあるクラスについて追加募集を行います。詳細は、CAMPUS WEB 通知により案内します。
- ・ 第1回目の授業はBKCジム及び第1グラウンド・テニスコートで実施をする授業はBKCジム内第1アリーナで、スポーツ健康commonsで実施する授業はスポーツ健康commons内多目的室でそれぞれガイダンスを行いますので、上履きを用意してください。授業スケジュール、服装・用具、体育施設の利用等の受講にあたっての注意事項は必ずシラバスで確認してください。

< 開講クラス >

開講クラスについては、別途配布している授業時間割表の冊子、大学ホームページ、シラバス等で確認してください。

再履修英語 < 3回生以上対象 >

再履修英語は抽選科目です。必ず4月6日(木) 5:30の抽選結果発表を確認のうえ受講してください。

なお、抽選で「不許可」となった場合は、追加登録を行なってください(下記参照)

「再履修英語」の追加登録について

抽選科目の申請ができなかった人、抽選結果で「不許可」となった人を対象に、以下の日時・場所で追加登録の受付(先着順)を行ないます。クラス定員を充足し次第、受付を終了します。

日時： 4月6日(木)～24日(月) 10:00～17:00

場所： 言語教育センター(アクロスウイング1F)

() 申込時には学生証とQRコードシールを必ず持参してください。

特殊講義(教養E) (国の行政組織) < 1・2回生対象 >

< 概要 >

この講義では、日本の行政について、一般常識として備えておくことが望ましい「国の仕組み」と、それぞれの組織の最近の政策課題に関する基礎的な知識・知見を養います。講師には、テーマに沿って中央省庁から行政官の方々をゲストスピーカーとして招きます。そして、各府省庁がどのような役割を果たし、どのような行政課題があり、どのような政策を考えているのかを、実際に仕事に就いている方々から語っていただきます。

BKC 所属の学部生はサテライト教室での遠隔授業(衣笠の授業を中継した映像をモニターで受講する形式)です。

詳細は、授業時間割表、シラバスを参照してください。

特殊講義（基礎専門）（理工系日本語の技法）

「10．特殊講義（基礎専門）（理工系日本語の技法）」について」のページを参照してください。

生物学実験・(教)生物学実験

詳細は『2017年度教職課程科目時間割』を参照してください。

9. 「専門ゼミナール」について

「専門ゼミナール」は、授業で設定されるクラスごとに定められたテーマについて学科・回生の異なる学生同士が、主体的・能動的にグループで学びあう学科横断型の科目です。他学科の専門分野に触れ、多角的な視野で調査、分析、提案することで、自身の専門分野だけでなく、幅広い領域の科学技術について理解を深めることができます。また、回生が異なる学生同士の共同学習により、低回生は上回生から専門知識や問題解決能力などを学びます。一方、上回生はグループワーク等で意見や考えをとりまとめる中で、リーダーシップを発揮し、理工系の実践的な力を身につけることを目指します。概要・申請方法等は以下のとおりです。

<開講科目>

科目
[1~2回生] 専門ゼミナール
[3~5回生] 特殊講義（基礎専門）（専門ゼミナール）

<申請方法・申請期間・結果発表>

クラス [テーマ]	申請方法・定員	申請期間	結果発表
TA [情報通信技術の未来]	・抽選科目 ・定員は15名程度	抽選科目と同様の日程	
TB [太陽電池とクリーンエネルギー]	・選考科目。窓口に応募用紙を提出 ・定員は15名程度	3/24(金) 15:00 ~ 4/10(月) 11:00	4/12(水) 13:00 CAMPUS WEB
TC [課題解決の技法]			

<応募用紙>

理工学部ホームページから取得してください。

理工学部事務室の窓口でも配布しています。

<クラス概要>

専門ゼミナールでは次の3クラスを開講します。

『情報通信技術の未来』クラス

通信情報(IT)技術の進展により、いろいろなものにセンサーやコンピュータが搭載され、より高機能、高付加価値なものが生み出されるようになりました。例えば、自動車では自動運転の実用化を意識した研究開発が行われたり、IT技術を活用した省エネ住宅など、さまざまな領域に広がっています。また、便利で快適な一方、新たにセキュリティの問題が浮上したりしています。また、様々なモノに通信機能を持たせネットワークに接続させるIoT(Internet of Things)のような概念も現れてきました。このように、さまざまな技術領域でIT技術の活用が広がり、従来の学問領域を超えた広がりを見せています。

本ゼミナールでは、IT技術が皆さんの専門分野でどのように活用されているのが調査し、その核となっている技術の概要を掴んでもらいます。さらに、進んで未来への応用事例としてどのようなものが考えられるのかを皆さん自身が思い描き、それに対する研究計画書を作成します。

『太陽電池とクリーンエネルギー』クラス

昨今、原子力発電の危険性、化石燃料の枯渇や化石燃料による環境破壊が危惧されています。この解決の糸口となる有望なものに太陽電池があります。太陽電池は1954年にアメリカのベル研究所で発明されました。60年ほど前に発明されたにも関わらず、まだ世界的に普及しているとはいえません。太陽電池の研究・製造技術は日本がリードしており、年間生産量も2000年代半ばまでは日本がトップでした。しかし、今は中国がトップです。なぜ、技術でトップなのに、生産量でトップでないのでしょうか？

本ゼミナールでは、技術の大枠を理解すると共に、政策や経済も含めた太陽電池の未来について、受講者の活動を通じて、明らかにします。解は外部にはありません。受講者と担当教員の頭の中（内部）から紡ぎ出します。

『課題解決の技法』クラス

地球温暖化や資源の枯渇、水や食料不足などグローバル社会には多くの問題が横たわっています。こうした問題も含めて実社会では殆ど全ての問題に対して明確な答えはなく、また何が問題であるかも茫漠としています。個々に求められるのは、広大且つ複雑な原野から「何が問題かを発見する力」であり、問題を解決していくための「提案力」です。それには自らが自律的、主体的に動かなければなりません。本ゼミナールではチームを組み、KJ法を活用し、ロジカル・ツリーなどの論理的思考手法を用いて問題を発見する能力を養います。更に問題解決に向けてのアイディアの出し方を学びます。こうした「力」はグローバル社会で理工系人材が活躍するための必須かつ不可欠の要素です。

10. 「特殊講義（基礎専門）（理工系日本語の技法）」について

昨今、企業等のグローバル化が進み英語力が求められていますが、だからこそ、まず日本語できちんと意見表明や物事の説明ができる力が重要になります。理工学部でも、技術者として基礎的な日本語力や論理的構成力を早い時期に獲得することを重視しています。

これを踏まえ、大学で学修を進めるうえで必要な日本語力の獲得に主眼を置いた「特殊講義（基礎専門）（理工系日本語の技法）」を開講しますので、ぜひ積極的に受講してください。

基本的な日本語力と、理工系の学問分野で必要とされる日本語の技法（レポート・卒業論文作成などで必要とされる文章能力）を、講義と課題レポート作成などの演習を通じて獲得します。詳細はシラバスを参照してください。

<科目について>

科目名	特殊講義（基礎専門）（理工系日本語の技法）
開講期間	後期
科目分野	基礎専門科目
対象	理工学部の1～6回生
登録方法	抽選科目（50名）
単位数	2単位
成績評価	本学の基準に基づく5段階評価

<クラス>

授業コード	クラス	開講期間	曜日・時限
32525	TA	後期	木曜 7-8時限
32526	TB	後期	金曜 5-6時限

<シラバスの「授業の概要と方法」>

本授業では理工系学生として必須の実験・研究報告書の書き方の要諦を学ぶ。こうした報告書の書き方は卒論や修論にももちろん適用されるし、社会に出てからも不可欠なスキルである。理工系の学生は文社系に比べて大学入学時までには日本語で文章を書く学びの場が少なく、文章力の一段の向上が求められる。また理工系の報告書には一定の型があり、論理的な展開や簡潔で明瞭な文章表現が求められる。授業では初回到理工系の報告書や論文がどのように構成されているかを示す。その後、論理的で明快な文章を書くための技術を学ぶ。後半では実際に理系ライティングの演習を行う。

11. 「インド工科大学ハイデラバード校 産学国際協働 PBL プログラム」について

立命館大学理工系 3 学部・研究科は、文部科学省「平成 26 年度大学の世界展開力事業」において「産学国際協働 PBL による南アジアの異文化・多様性社会の中で活躍できる高度理工系人材の育成」構想を提案し、採択されました（2018 年度までの 5 年間）。この事業の特徴は、日印の学生が現地の課題について、理工系の専門的知識を基盤に共同かつ実践的に学ぶ PBL (Problem/Project Based Learning) を行うことです。

本事業のプログラムの一つとして「立命館大学-インド工科大学ハイデラバード校 産学国際協働 PBL」プログラムを実施します。本プログラムは、10 日間ほどインド工科大学ハイデラバード校で行う現地研修があります。

PBL のテーマは、インドにおける「交通渋滞の改善」、「生活用水の水質の浄化」、「田舎への電気の安定供給のインフラ整備」、「農業の管理システム」など、日本の科学技術を基盤とした内容を想定しています。インドの企業見学や日印学生交流を通じて、世界で活躍する理工系人材に必要な国際的視野の修得を目指します。

説明会は「3 月 30 日（木）14 時 30 分」から実施します。詳細は CAMPUSWEB を通じて案内しますので興味がある方はぜひ参加してください。

<プログラムの概要（予定）>

派遣先	インド工科大学ハイデラバード校
募集説明会	2017 年 3 月 30 日（木）14 時 30 分～ 場所：ウエストウイング ピアラーニングスタジオ 詳細は別途 CAMPUS WEB にて案内します。
渡航期間	2017 年 8 月下旬～9 月上旬（10 日間程度） 渡航前後に国内で事前・事後研修を行います。
単位授与	理工学部：特殊講義（基礎専門） <2 単位> 理工学研究科：海外実習 <2 単位>
成績評価	本学の基準に基づく 5 段階評価
受講登録	2017 年度の後期科目として理工学部事務室から一括で行いますので、皆さんが受講登録をする必要はありません。（年間受講登録制限外）
応募資格	理工学部・理工学研究科 全学生 情報理工学部、生命科学部との共同プログラムになります。
募集人数	15 人
参加費	6 万円程度（現地での食費等、渡航費の一部(4 万円程度)） 渡航費 7 万円と宿泊費は大学が負担します。 下記の JASSO 日本学生支援機構の対象者は、更に 6 万円補助されるため、参加費は実質無料になります。
奨学金	JASSO 日本学生支援機構海外留学支援制度（短期派遣） （補助額：対象者は一人につき 6 万円）

12. 「インド ニッテ大学派遣プログラム」について

本プログラムは、インドの科学技術や文化等の理解を深めながら、インドが抱えている様々な課題について調査を行い、課題に対して理工系の知識を活かしながら、様々な視点で解決策を探ります。また、解決策の効果や実現性等についてディスカッションを行い、検討を重ねることで、科学技術の理解を深めます。現地研修では「ニッテ大学 NMAMIT」に訪問し、現地の学生とのディスカッションや研究室訪問、フィールドワークなどを通じて解決策の検証を行い、最終プレゼンテーションを行います。

説明会は「3月30日（木）14時30分」から実施します。詳細はCAMPUSWEBを通じて案内しますので興味がある方はぜひ参加してください。

<プログラムの概要（予定）>

派遣先	インド ニッテ大学 NMAMIT
募集説明会	2017年3月30日（木）14時30分～ 場所：ウエストウイング ピアラーニングスタジオ 詳細は別途 CAMPUS WEB にて案内します。
渡航期間	2018年2月上旬（10日間程度） 渡航前後に国内で事前・事後研修を行います。
単位授与	理工学部：特殊講義（基礎専門） <2単位>
成績評価	本学の基準に基づく5段階評価
受講登録	2017年度の後期科目として理工学部事務室から一括で行いますので、皆さんが受講登録をする必要はありません。（年間受講登録制限外）
応募資格	理工学部 全学生 生命科学部との共同プログラムになります。
募集人数	15人
参加費	6万円程度（現地での食費等、渡航費の一部（4万円程度）） 渡航費7万円と宿泊費は大学が負担します。 下記の JASSO 日本学生支援機構の対象者は、更に6万円補助されるため、参加費は実質無料になります。
奨学金	JASSO 日本学生支援機構海外留学支援制度（短期派遣） （補助額：対象者は一人につき6万円）

13. 「ハワイ大学留学プログラム」について

ハワイ大学留学プログラム（University of Hawaii Program）は、主に理工学部2・3回生を対象とした4週間の留学プログラムです。ハワイ大学で本プログラムのために特別に用意された講座（理工系の内容の講座、ハワイの文化に関する講座）や英語学習の講座を受講します。その他にも、各種フィールドトリップやハワイ大学の学生との交流など、盛り沢山の企画が用意されています。一部、他学部からの参加もあります。

理工学部の2・3回生であれば誰でも応募でき、書類および面接選考を行います。履修指定科目「英語9」の Super-advanced (SA) と Advanced (AD) レベルの受講者の場合は、面接選考が免除されます。

本プログラムを通じて、英語の総合的・実践的運用能力を培い、国際社会の一員として積極的な役割を担うべく、皆さんの将来展望をより具体的なものとしてください。参加希望者は、所定の期間内に募集要項に従って応募してください。

<プログラムの概要(予定)>

留学先	ハワイ大学マノア校(アメリカ・ハワイ州オアフ島ホノルル市内)
募集期間	2017年5月29日(月)~6月8日(木)17:00まで
応募方法	応募書類に必要事項を記入し、理工学部事務室の窓口に提出してください。
渡航期間	2018年2月中旬~3月中旬(4週間) 渡航前後に国内で行われる事前・事後研修が別途予定されています。
単位授与	特殊講義(教養B) <2・3回生配当科目、2単位> 2017年度後期の単位として、教養基礎科目(B群)で認定されます。
成績評価	本学の基準に基づく5段階評価 本科目は2017年度後期科目ですが、実際に成績が反映されるのは2018年度前期となります。
受講登録	皆さんが受講登録をする必要はありません。理工学部事務室が一括で行います。(年間受講登録制限外)
応募資格	理工学部の2・3回生であれば誰でも応募できます。
募集人数	20人(最少催行人員7人)
奨学金	「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」(補助額:6万円以内)申請中 JASSO 日本学生支援機構海外留学支援制度(短期派遣) (補助額:対象者は一人につき8万円)

14.「グローバルエンジニアプログラム」について

「国際化への対応」これは理工学部で学ぶ皆さんが避けては通れない道です。海外における研究発表や海外の企業との取引等の場面において、外国人と英語でコミュニケーションをとる場面は今後ますます増えていきます。

コミュニケーション力をつけるためには、早期に異文化に遭遇し、自ら発信しなければ何も獲得できない環境に身を置くことが重要です。また、実際に多様な環境で働く技術者に接することにより、将来への目標設定や専門性追求への契機となることが期待できることから、理工学部では2014年度から全学科横断型の海外留学プログラム「グローバルエンジニアプログラム」を実施することにしました。

プログラムの詳細は現在検討中ですが、決まり次第 CAMPUS WEB で案内するとともに、別途説明会を開催する予定です。また、プログラムの概要(予定)は以下のとおりとなります。

<プログラムの概要(予定)>

- 基礎専門科目として開講します。
- 単位数は2単位で、年間受講登録制限外科目となります。
- 配当回生は1~3回生です。
- 1月に事前講義を実施し、2月に海外実習を行ないます。
- 海外実習先は台湾を予定しています。
- 定員は最大12名です。
- 費用は15万円程度を予定しています。

15 「ジェイコブス大学派遣プログラム」について

ジェイコブス大学派遣プログラムは電気電子工学科および電気情報工学科を対象とした、5～6週間の留学プログラムです。ジェイコブス大学で現地の専門講義の受講や英語学習、学国企業への訪問・技術見学などを実施します。引率は、理工学部電気電子工学科の専任教員が担当します。その他、プログラム内容詳細は、募集要項を参考にしてください。

本プログラムを通して、英語の総合的・実践的運用能力を培い、グローバルエンジニアを目指す皆さんの将来展望をより具体的なものとしてください。詳しくは、別途配布されている募集要項で確認してください。

<プログラムの概要(予定)>

留学先	ジェイコブス大学(ドイツ・ブレーメン州)			
渡航期間	2017年8月1日～9月6日(約5週間) 国内で行われる事前・事後研修が別途予定されています(会場はBKC)。 追試験の対象となった場合、本プログラムを辞退することになりますが、 キャンセル料が発生するため、費用の返金はできません。			
単位授与	学科・専攻名	科目名	配当回生	単位数
	理工学部電気電子工学科	特殊講義(専門)	3回生以上	2単位
	理工学部電子情報工学科	特殊講義(専門)		
	理工学研究科電子システム専攻	特殊講義(専門)	1回生以上	
成績評価	本学の基準に基づく5段階評価			
受講登録	皆さんが受講登録をする必要はありません。(年間受講登録制限外) 本学大学院進学を予定している学部生で、本プログラムを早期履修として受講する場合は、早期履修申請が必要です。			
応募資格	理工学部電気電子工学科・電子情報工学科の3回生以上 理工学研究科電子システム専攻の1回生以上			
募集人数	20人(学部生・大学院生併せて)			
奨学金	以下奨学金に申請中。 【学部生】立命館大学海外留学チャレンジ奨学金(補助額:一人につき12万円以内) 【院生】立命館大学大学院博士課程前期課程研究実践活動補助金(補助学:一人につき10万円)			

16. 履修にあたっての注意事項（閉講科目等）

閉講を予定している科目と、閉講した科目は以下のとおりです。学修要覧にも掲載していますので、必ずあわせて確認してください。

カリキュラム年度	分野	学科	科目名	閉講について
2008～2011年度 入学生	専門	数理科学科	解析学演習、解析学演習	2015年度をもって閉講しました。
			情報処理演習	2016年度をもって閉講しました。
			シミュレーション技法	2017年度をもって閉講します。2018年度以降は開講されませんので、必要とする場合には2017年度に受講するようにしてください。
			数理計画法	
	専門	物理科学科	力学演習	2015年度をもって閉講しました。
			統計熱物理学演習	2016年度をもって閉講しました。
	専門	電子情報デザイン学科	集積回路演習	2013年度をもって閉講しました。
			LSIシステム設計論	2014年度をもって閉講しました。
			メディア情報処理	2015年度をもって閉講しました。
			デザインオートメーション概論	2016年度をもって閉講しました。
	専門	機械工学科	機械運動学	2015年度をもって閉講しました。
			数値計算演習	
		ロボティクス学科	生体情報計測工学	
			オートメーション工学	
		マイクロ機械システム工学科	マイクロマシン実験Ⅱ	
			電子工学	
	専門	機械工学科 ロボティクス学科 マイクロ機械システム工学科	電磁気学	2014年度をもって閉講しました。
	専門	マイクロ機械システム工学科	マイクロマシン実験Ⅰ	2014年度をもって閉講しました。
	専門	ロボティクス学科	福祉機械論	2017年度をもって閉講します。2018年度以降は開講されませんので、必要とする場合には2017年度に受講するようにしてください。
	専門	都市システム工学科	都市システム工学概論	2011年度をもって閉講しました。
建設マネジメント			2014年度をもって閉講しました。	
PC構造学			2015年度をもって閉講しました。	

カリキュラム年度	分野	学科	科目名	閉講について
	インSTITUTE 専門科目	環境システム工学科	琵琶湖環境学入門	2011年度をもって閉講しました。
			専門演習	2013年度をもって閉講しました。
			卒業研究(経済・経営)	2013年度をもって閉講しました。
	専門	環境システム工学科	建設マネジメント	2014年度をもって閉講しました。
			環境システム力学	2015年度をもって閉講しました。
			地盤災害	

《他学科受講許可科目の受講不可のお知らせ》

2014年度に配布した学修要覧には「数値解析演習」は他学科受講許可と掲載されていますが、2015年度より受講不可になりました。該当の学科に所属する学生のみが受講可能ですので、登録の際、ご注意ください。

17. 「低回生研究室体験制度」について

本制度は、低回生時に、各研究室の紹介だけでなく、教員指導のもと簡単な実験や、先輩学生との交流を通して、研究の一端に触れることができる制度です。

低回生のうちに研究の様子を体験することで、卒業研究で扱うテーマや大学院進学を考えるきっかけになるとともに、専門科目等の講義内容が高回生時および大学院でどのように役に立つかのイメージが湧き、自身の専門性の向上にも繋がります。

体験内容、対象回生、対象人数、実施時期、申し込み方法などは、学科によって異なります。詳細はCAMPUS WEBまたは各学科のホームページで2017年3月下旬に公開しますので確認してください。

18. 教職課程科目について

ここでは、教職課程に関する一部を記載しています。教職科目の詳細については、学修要覧の『教職課程について』の章、『2017年度 教職課程科目時間割』、教職課程の掲示板、および教職課程ホームページなど、併せて確認してください。

(1) 「(教) 学校教育演習」の希望申請登録について

教職課程科目のなかにも抽選科目、先着科目、選考科目がありますので、受講予定科目の登録方法を『2017年度 教職課程科目時間割』で、確認をした上で、各自、手続きをしてください。

科目によっては、2016年度から登録方法が変わっていますので注意してください。

(2) 「(教) 教育実習 」または「(教) 教育実習 」の履修に関わって

2017年度に教育実習を予定している方(受講要件を満たしている学部新4回生以上、および受講要件を満たしている大学院生)は、所定の期間内に『教育実習第2次調査票』と『誓約書』を提出してください。また、自動的に受講登録されるため、本登録は不要です。

ただし、正しく登録されているかを必ずCAMPUSWEBで確認してください。

『第2次調査票』に関する説明文書、および所定の用紙は、BKC教職教育課または教職課程HPで配布しています。

(3) 高等専門学校からの編入学生の教職課程科目の履修について

高等専門学校からの編入学生で、教育免許状取得を希望する場合は、必ず、事前に理工学部事務室に相談してください。高等専門学校で取得した単位を教科に関する科目に認定できる単位数に制限があるなど注意があります。

19.【2011年度以前入学生対象】自主挑戦科目（難関資格試験、英語能力検定試験）の申請について

学生の多様な学びの機会を保證するという観点から、課外活動や資格取得など自己啓発に寄与する取り組みに関して、本人の申請に基づき、自由選択科目として単位を認定します。単位認定を申請する場合は、学修要覧の『学部共通の履修』の該当ページをよく読み、申請してください。2017年度の申請期間については追って、CAMPUS WEBでお知らせします。

20.【2017年度 新2回生対象】3回生時の履修指定外国語の語種希望申請について

3回生時（2018年度）に下表のとおり、全員が英語もしくは初修外国語（ドイツ語／フランス語／中国語）を履修指定科目として2科目（各1単位）履修します（外国人留学生は対象外）。3回生時に履修する外国語の語種希望申請の受付期間や方法については、2017年9月頃を予定しています。詳細については追って、CAMPUS WEBでお知らせします。なお、外国人留学生は、履修指定科目ではありませんが、受講を希望する学生は理工学部事務室に相談してください。

語種	科目名	開講期間	単位数
英語	英語9	前期	1
	英語10	後期	1
ドイツ語	ドイツ語1	前期	1
	ドイツ語2	後期	1

語種	科目名	開講期間	単位数
フランス語	フランス語1	前期	1
	フランス語2	後期	1
中国語	中国語1	前期	1
	中国語2	後期	1

21.健康診断について

2017年度の定期健康診断を以下の通り実施します。就職用、奨学金への出願、教育実習、留学用、アルバイト用などの健康診断証明書は、本学実施の健康診断の結果に基づき発行します。定期健康診断を受診しなかった場合は、健康診断証明書は発行できません。

回生	日程	受付時間	場所	備考
2回生	4/7（金）	13:00 ~ 16:30 (4/3のみ 13:45 ~)	プリズムホール	学生証と黒ボールペンを 持参してください。
3回生	4/12（水）			
4回生以上	4/3（月）			
予備日（全回生）	4/13（木）			

1.留意事項

- 基本的に指定された日で受診をお願いします。なお、指定された日に授業等で、どうしても都合がつかない場合は、上記日程のいずれかで受診してください（1回生の日程では受診できません）。
- 持参するものは、学生証、黒ボールペン。健診終了時に学生証裏面に「受診済」がわかる印を押印します。
- 尿検査：健診当日の朝、検尿容器に自宅で採尿したものを持参してください。万一容器を忘れた場合は健診会場で採尿は可能です。尿検査会場で申し出てください。健診当日に尿検査が出来ない方は、後日の検査日をお知らせします。事前に配布した容器を使用しなかった場合は、当日健診会場もしくは保健センターに返却してください。
検尿容器を持ち帰ってください。
- 胸部X線撮影を行います。当日は着脱しやすい服装で受診してください。薄手で無地のTシャツ等を着用し、模様やレースなどの飾りがついているものは避けてください。ネックレス等は外してください。
- 学部4回生以上の方は視力測定があります。メガネ・コンタクト使用の方は必ず持参してください。
- 社会人学生の方で、1年以内に勤務先で健康診断を受けている場合は、その写しを保健センターに提出してください。健康診断を受診したものとみなします。なお、1年以上経過している場合は本学の健康診断を受診してください。
- 2016年度の後期に入学された方は1回生以外の日程で受診してください。
- 健康診断の受診にあたって、質問・相談のある方は事前に保健センターに連絡してください。

2. 就職用健康診断証明書の発行について

4回生以上、M2・D3以上の方で指定された日時で受診された場合、自動発行機での発行開始は、5月中旬頃を予定しています。

22. 教科書販売について

2017年度の教科書販売について、以下の期間は特設会場で販売していますので、期間内に購入するようにしてください。

場所	日程	営業時間	備考
【特設会場】 ローム記念館1階	4/4(火)	12:00 ~ 17:00	詳細は、別途配布の案内をご覧ください。
	4/5(水)	10:00 ~ 17:00	
	4/6(木)・4/7(金)	8:30 ~ 18:00	
	4/10(月)・4/11(火)	8:30 ~ 18:00	
	4/12(水)~4/14(金)	10:00 ~ 18:00	
	4/17(月)~4/19(水)	11:30 ~ 15:00	

23. レポートの書き方について

大学では、レポート、小論文、各種課題などの提出を求められることがあります。これらの多くは成績評価の対象となるものであり、定期試験と同様に厳正な態度で作成することが必要です。レポート等の作成にあたっては、以下のルールを守ってください。

作成にあたっては、他の人の文献を参考にした場合、自分の考え方や評価を述べなければならぬことに留意してください。

参考にした文献・情報については、注記をつけて明確に表示してください。

他の人の文献や考え方を要約した場合や、それを直接引用する場合は、その出典を明示してください。また他人の文章の全部または一部をそのままレポート等の中に用いた場合は、その引用部分をかぎかっこ(「」)で囲み、引用したものであることを明示してください。

～ がなされていない場合は剽窃となりますので、注意してください。

当然のことながら、盗作は許されません。参考文献やその他の参考となる資料はもちろんのこと、友人等が作成したレポート・小論文を書き写したり、インターネットからコピー&ペーストしたりすることも許されません。盗作行為は、著作権者に対する明らかな権利の侵害となるため、本学では悪質なものについては懲戒の対象としています。

< 剽窃等への厳重な処罰について >

個人に課せられた演習課題やレポート課題は、個人が作成するものであり、自分自身の言葉で作成するものです。よって、定期試験に代わるレポート試験や授業内レポート課題において、他の学生のレポートの一部または全てを書き写して提出することは剽窃にあたります。また、一部または全てを書き写させることを前提に、他の学生にレポートを見せたり渡したりする行為(USBディスクやメール、SNS、WEBなどを介する共有などを含む)は剽窃^{ひょうせつ} 助^{すけ}にあたります。立命館大学では、これらの不正行為を行った対象者に対して、「^{かいこく} 厳重注意」および「^{かいこく} 戒告」、「停学」処分など、厳重に処罰します。ただし、共同で行った実験のデータなどについては、共同でレポートを作成する場合は連名でレポートを提出するなど、教員の指示に従ってください。

【引用のしかた】

引用するもの（著作者の考え方や感じ方が表現されている部分）が明確になっていること。

引用するものの出典を明示すること。脚注や末尾注の形式で示します。

〔注には、引用、要約、自分の意見ではない意見などの出典・出所を示すもの、本文に入れるとその流れを妨げるが、本文の理解に役立つ情報や参考のためのコメントなどがあります。〕

【引用注の形式】 次のような形式で引用するといいでしょ。

例) 単行本等の場合 著者名『書名』(出版社、年) 頁。

例) 雑誌等の論文の場合 著者名「論文名」所収雑誌名 巻号(発行機関名、年) 頁。
または著者名「論文名」所収書名(出版社、年) 頁。

インターネット上で一般に公開されているファイルであっても、著作権法による保護を受けていますので、一般の書籍等と同様の制約があることに注意してください。

インターネット上で公開されているファイル等を参照した場合でも、引用を明示することが必要です。たとえば次のような方式で明示してください。

例) 著者名「」(ファイル最終更新日、またはファイル参照日) <URL>
立命太郎 「論文の書き方」(visited Apr.30.2010) <http://sitename/filename>
立命太郎 「論文の書き方」(last modified Apr.30.2010) <http://sitename/filename>

(なお、以上の諸原則は、一般的な考え方を示したものであり、表記例のひとつです。)

24. その他連絡事項

(1) CAMPUS WEB の登録情報確認と更新のお願い

CAMPUS WEB より、自分の登録住所、連絡先の確認、更新を必ず行ってください。大学より授業、成績、就職に関わる重要なお知らせをすることがあります。住所、連絡先を更新していないと連絡がとれず、不利益を受けるケースもあります。

【事例】

- ・ 学生証に現住所の正確な記載がなく、駅で学割が利用できなかった！
- ・ 教員や内定企業から緊急連絡が事務室に入ったが、本人と連絡が取れない！
- ・ 不測事態の発生に大学から連絡しようとしたが、連絡先の登録がない！

現住所、電話番号の確認

携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話の番号も必ず登録してください。

<登録・修正が必要な場合>

CAMPUS WEB 『あなたの登録情報の確認・変更』 『学生情報照会・修正』画面から、ご自身で登録・修正した上で、学びステーションで学生証を提示し、裏面シールの修正手続きをしてください。

保証人住所・学費請求先・帰省先住所の確認

<修正が必要な場合>

学びステーションで「住所変更届」を受け取り、提出して下さい。CAMPUS WEB で修正はできません。

(2) 自主ゼミの募集について

自主ゼミとは、授業で得た問題意識を広く発展させながら活動を続けるグループのことです。自主ゼミに対して、学部学生の自主的・集団的学習に対する援助として経済的援助（コピーカード等）および施設貸与援助（施設利用）をします。2017年度自主ゼミの募集を3/27（月）から4/28（金）まで行います。募集要項はCAMPUS WEBで公開しています。

(3) ピアラーニングスタジオについて

ウエストウイング1階の「ピアラーニングスタジオ」では、主に理工学部・理工学研究科に所属するみなさんが、学科・専攻の枠を越えて、共に学ぶためのスペースです。開講期間中（下記参照）は、数学学修相談会と物理駆け込み寺が開催されており、各種イベントも随時開催されます。このスペースを活用して、ぜひ自主的な学びに取り組んでください。

(4) 2017年度前期 数学学修相談会・物理駆け込み寺について

以下の日程で開催されます。

数学学修相談会

<メディアセンター1階「ぴあら」>

期間：前期 4/6(木)～7/7(金)・後期 9/26(火)～1/5(金)

曜日：大学休講日を除く平日

時間：14:40～17:50（第4・5時限）

詳しくは>>> <http://rms2005.org/>

<ウエストウイング1階「ピアラーニングスタジオ」>

期間：前期 4/10(月)～7/5(水)・後期 9/27(水)～12/25(月)

曜日：大学休講日を除く月曜日と水曜日

時間：18:00～19:30

物理駆け込み寺

期間：前期4/19（水）～7/19（水） 後期10/10（火）～1/18（木）

曜日：大学休講日を除く平日

時間：16:30～19:30

場所：ウエストウイング1階「ピアラーニングスタジオ」

詳しくは>>> <http://www.ritsumei.ac.jp/~kht23151/kakekomi/>

(5) 理工学研究科 進学ガイダンスのお知らせ ～2018年4月入学希望者対象～

特に、学内進学を希望される方は、GW休暇明けすぐに必要書類を提出する必要があります。入試制度概要、新年度版入試要項、また奨学金制度に関する説明なども予定していますので、下記内容をご確認の上、必ず参加してください。（事前申込みは不要）

CAMPUS WEBで詳細を確認してください。

- 参加対象者：2018年4月に本学理工学研究科への進学を考えている方（主に学部4回生）
- 日 時：4/18（火）18:10より（変更となった場合はCAMPUS WEBで周知します）
- 会 場：カラーニングハウス C204（予定）
- 内 容：理工学研究科の概要、奨学金制度、入試要項に関する説明、学内進学入試に関する注意事項など

(6) 学生サポートスタッフ募集について

立命館大学ではサポートを必要とする障害学生がともに学んでいます。彼らを支援するサポートスタッフ（有償）に興味のある方は、ぜひ障害学生支援室にご連絡ください。特に理系学部の学生スタッフを募集しています。

- 問い合わせ先：立命館大学障害学生支援室（TEL：075-465-8343）
- メールアドレス：drc@st.ritsumei.ac.jp
- 障害学生支援室ホームページ：<http://www.ritsumei.ac.jp/drc/>

(7) 通学定期券の購入について

交通機関	通学証明書	学生証
JR（南草津駅での購入）	不要	要
JR（南草津駅以外での購入）	要	要
近江鉄道バス	不要	要
京都市交通局（バス・地下鉄）	不要	要
阪急、京阪	不要	要

<注意点>

- 学生証裏面、通学証明書（必要な場合のみ）に、予め必要事項を記入した上で発行窓口を持参すること。
- 通学証明書が必要な場合は、4月に「学びステーション」に学生証を持って学生本人が申請してください。
- 2016年度から、通学証明書の発行は「学びステーション」で行います。理工学部事務室では発行できませんのでご注意ください。

大学への通学は、徒歩もしくは自転車、または公共交通機関による方法を原則とし、自動車による通学は全面的に禁止、どうしてもバイク通学が必要な場合は登録の上所定の置場に駐輪することを全学のルールとしています。このルールを遵守しない場合には、停学処分などを含めた厳しい指導を行なってきています。

「通学」とは、「学校に通う」ことです。通学目的が正課外であろうと、車での通学は一切認めません。

2017年度 学部学年暦

2017年4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1 オリ
2	3	4	5	6	7	8
入学式	オリ	オリ	オリ	①	①	
9	10	11	12	13	14	15
	①	①	①	②	②	② 水曜授業
16	17	18	19	20	21	22
	②	②	③	③	③	
23	24	25	26	27	28	29
	③	③	④	④	④	補講日
30						

・入学式：4月2日(日)衣笠、BKC、OIC、朱雀
 ・オリエンテーション期間：4月1日、4月9日～5日
 ・前期ゼミスター授業開始：4月6日
 ・水曜授業日：4月15日
 ・統一補講日：4月29日

2017年5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	④	④				
7	8	9	10	11	12	13
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥ 金曜授業
14	15	16	17	18	19	20
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑦	⑦ 補講日
21	22	23	24	25	26	27
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑧	
28	29	30	31			
	⑧	⑧	⑧			

・金曜授業日：5月13日
 ・統一補講日：5月20日

2017年6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				⑧	⑨	⑨ 木曜授業
4	5	6	7	8	9	10
	⑨	⑨	⑨	⑩	⑩	⑩
11	12	13	14	15	16	17
	⑩	⑩	⑩	⑪	⑪	⑪ 補講日
18	19	20	21	22	23	24
	⑪	⑪	⑪	⑫	⑫	
25	26	27	28	29	30	
	⑫	⑫	⑫	⑬	⑬	

・木曜授業日：6月3日
 ・統一補講日：6月17日

2017年7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	⑬	⑬	⑬	⑭	⑭	
9	10	11	12	13	14	15
	⑭	⑭	⑭	⑮	⑮	⑮ 補講日
16	17	18	19	20	21	22
	⑮	⑮	⑮	補講日	試験①	試験②
23	24	25	26	27	28	29
	試験③	試験④ レポート 試験締切日	試験⑤	試験⑥	試験⑦	試験⑧
30	31					
	試験⑨					

・統一補講日：7月15日
 ・祝日授業日：7月17日(海の日)
 ・統一補講日：7月20日
 ・定期試験：7月21日～8月1日(予備日8月1日)
 ・レポート試験統一締切日：7月25日

2017年8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		試験⑩ (予備日)				
6	7	8	9	10	11	12
	追試験	追試験				
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
			再試験	再試験	再試験	再試験 (予備)
27	28	29	30	31		
	夏Ⅰ	夏Ⅰ	夏Ⅰ	夏Ⅰ		

・追試験日：8月7日、8日
 ・再試験日(実学部)：8月23日～26日(予備日26日)

2017年9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					夏Ⅰ	夏Ⅰ
3	4	5	6	7	8	9
	夏Ⅱ	夏Ⅱ	夏Ⅱ 合否発表	夏Ⅱ	夏Ⅱ	夏Ⅱ
10	11	12	13	14	15	16
				夏期試験		
17	18	19	20	21	22	23
					オリ	卒業式
24	25	26	27	28	29	30
	入学式	①	①	①	①	

・前期卒業合否発表日：9月6日
 ・夏期集中試験日：9月14日
 ・秋季オリエンテーション：9月22日
 ・前期卒業式：9月23日(秋分の日)
 ・秋季入学式：9月25日
 ・後期授業開始：9月26日

2017年10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	①	②	②	②	②	
8	9	10	11	12	13	14
	②	③	③	③	③	③ 月曜授業
15	16	17	18	19	20	21
	④	④	④	④	④	
22	23	24	25	26	27	28
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤ 補講日
29	30	31				
	⑥	⑥				

・祝日授業日：10月9日(体育の日)
 ・月曜授業日：10月14日
 ・統一補講日：10月26日

2017年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑥	⑥	⑥ 祝日授業	
5	6	7	8	9	10	11
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
12	13	14	15	16	17	18
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧ 補講日
19	20	21	22	23	24	25
	⑨	⑨	⑨	⑨ 祝日授業	⑨	
26	27	28	29	30		
	⑩	⑩	⑩	⑩		

・祝日授業日：11月3日(文化の日)
 ・統一補講日：11月18日
 ・祝日授業日：11月23日(勤労感謝の日)

2017年12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					⑩	
3	4	5	6	7	8	9
	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪ 補講日
10	11	12	13	14	15	16
	⑫	⑫	⑫	⑫	⑫	
17	18	19	20	21	22	23
	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬ 補講日
24	25	26	27	28	29	30
	⑭					
31						

・統一補講日：12月9日
 ・統一補講日：12月23日(天皇誕生日)

2018年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
					⑭	
7	8	9	10	11	12	13
		⑭	⑭	⑭	⑮	
14	15	16	17	18	19	20
	⑮	⑮	⑮	⑮	補講日	試験①
21	22	23	24	25	26	27
	試験②	試験③ レポート 試験締切日	試験④	試験⑤	試験⑥	試験⑦
28	29	30	31			
	試験⑧	試験⑨	試験⑩ (予備日)			

・統一補講日：1月19日
 ・定期試験期間：1月20日～1月31日(予備日31日)
 ・レポート試験統一締切日：1月23日

2018年2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
		追試	追試			
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
	卒業合 発表(業)	再試験	再試験	再試験	再試験 (予備)	
25	26	27	28			

・追試験日：2月6日、7日
 ・卒業合発表日：2月19日(業)
 ・再試験日(実学部)：2月20日～23日(予備日23日)

2018年3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	卒業合 発表					
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
		卒業式 衣笠	卒業式 朱雀・OIC	卒業式 BKC		
25	26	27	28	29	30	31

・卒業合発表日：3月5日
 ・卒業式：
 (衣笠) 3月20日(火)
 (朱雀・OIC) 3月21日(水)(春分の日)
 (BKC) 3月22日(木)